

2025年4月25日

関係各位

野村ホールディングス株式会社  
コード番号8604  
東証プライム市場・名証プレミア市場

## 奥田グループCEO決算コメントおよびハイライト (2025年3月期 連結決算)

野村ホールディングス株式会社(代表執行役社長 グループCEO:奥田健太郎、以下「当社」)の2025年3月期の通期(以下「当期」)および第4四半期(2025年1-3月、以下「当四半期」)の連結決算概要をお知らせします。

当期の収益合計(金融費用控除後、以下「収益合計」)は1兆8,925億円(前期比21%増)、当期純利益は3,407億円(同105%増)、ROEは10.0%となりました。また、当四半期の収益合計は4,527億円(前四半期比10%減、前年同期比2%増)、当期純利益は720億円(同29%減、27%増)、ROEは8.2%でした。

グループCEOの奥田健太郎は以下のように述べています。

「安定収益の拡大やホールセール部門収益の多様化、コスト・コントロールなど、中長期的な取組みを着実に進めた結果、当期の純利益は 3,407 億円と過去最高となりました。ROE は 10.0%に達し、設定した目標水準を着実に達成しています。

各部門の税前利益は、ウェルス・マネジメント部門が 2014 年 3 月期以来 11 年ぶりの高水準、インベストメント・マネジメント部門では 2021 年 4 月の部門設立以降で最高、ホールセール部門も 2010 年 3 月期以来 15 年ぶりの高水準に達し、主要 3 部門の合計は 4,266 億円となりました。

加えて、海外 3 地域(米州、欧州、アジア)の税前利益も過去最高となり、海外の利益貢献が拡大しています。

また先日発表した、豪マッコーリー・グループの米国資産運用会社の全株式取得は、2030 年に向けた経営ビジョン「Reaching for Sustainable Growth」を達成するため、インベストメント・マネジメント部門の運用資産残高および収益規模の拡大とともに、米国でのプレゼンス向上を目指す戦略的な取組みの一環です。日本のフランチャイズを活かしたグローバル戦略を推進し、安定収益の飛躍的な成長に向けた変革を継続することで、持続的な ROE の向上、企業価値の拡大を目指してまいります」

## 決算ハイライト

<当期>

### 全社

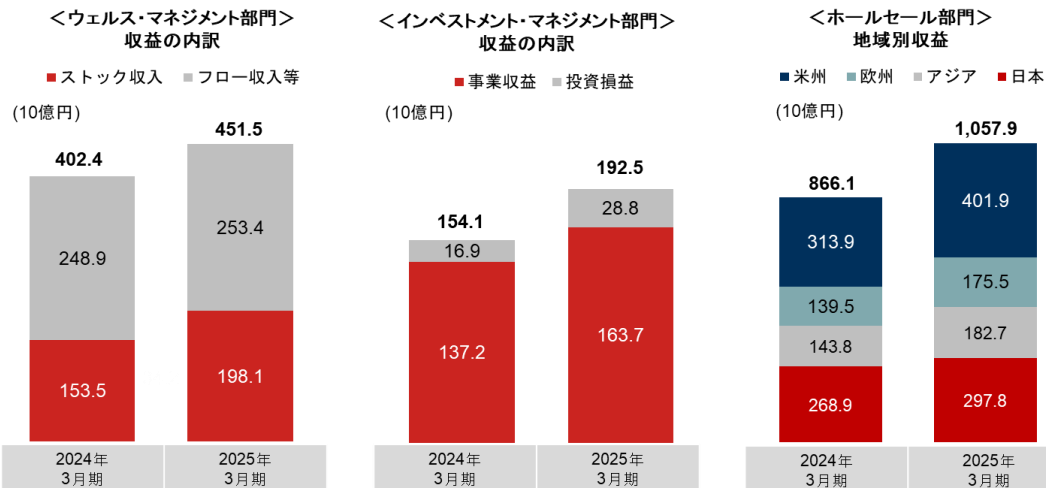
- 税前利益は4,720億円(前期比72%増)、当期純利益は3,407億円(同105%増)でした。
- EPSは111.03円(前期比111%増)、ROEは10.0%(前期は5.1%)となりました。
- 2025年3月末日を基準日とする配当金(支払い開始日:2025年6月2日)は1株当たり34円(創立100周年記念配当10円を含む)とし、当期の配当額は57円となります。
- 普通株式1億株または総額600億円を上限とする自己株式の取得について決議しました。

	2025年3月期	前期比
収益合計 (金融費用控除後)	1兆8,925億円	+21%
税前利益(損失)	4,720億円	+72%
当期純利益(損失)	3,407億円	+105%

### 主要3部門

- ウェルス・マネジメント部門は、包括的な資産管理ビジネスの提供を推進、ストック収入は前期比で約3割増加し、税前利益は11年ぶりの高水準となりました。
- インベストメント・マネジメント部門は、事業収益は2021年4月の部門設立以降で最高、投資損益も増加し、収益・税前利益ともに部門設立以降最高となりました。
- ホールセール部門は、すべてのビジネスライン、すべての地域で収益が伸長する一方、コスト・コントロールは徹底し、税前利益は15年ぶりの高水準となりました。

	収益合計(金融費用控除後)		税前利益(損失)	
	当期	前期比	当期	前期比
ウェルス・マネジメント部門	4,515億円	+12%	1,708億円	+39%
インベストメント・マネジメント部門	1,925億円	+25%	896億円	+49%
ホールセール部門	1兆579億円	+22%	1,663億円	3.1倍
合計	1兆7,019億円	+20%	4,266億円	+80%



<当四半期>

全社

- 全社の税前利益は977億円、当期純利益は720億円でした。
- EPSは23.39円(前四半期比29%減)、ROEは8.2%(前四半期は11.8%)となりました。
- 海外3地域は7四半期連続の黒字(税前利益:285億円)となり、実効税率を押し下げました(実効税率:24%)。

	当四半期	前四半期比	前年同期比
収益合計 (金融費用控除後)	4,527億円	-10%	+2%
税前利益(損失)	977億円	-29%	+6%
当期純利益(損失)	720億円	-29%	+27%

主要3部門

- ウェルス・マネジメント部門は、安定収益であるストック収入は過去最高を更新、コスト削減の取組みが奏功し、ストック収入費用カバー率は76%に上昇しました。不透明な市場環境を受けてフロー収入等が減速しました。
- インベストメント・マネジメント部門は、アセットマネジメント・ビジネスが好調で安定収益である事業収益は部門設立以降で最高となりましたが、投資損益が悪化しました。
- ホールセール部門では、エクイティとインベストメント・バンキングは増収基調を維持しました。一方、フィクスト・インカムは好調だった前四半期からは減収となりました。

	収益合計(金融費用控除後)			税前利益(損失)		
	当四半期	前四半期比	前年同期比	当四半期	前四半期比	前年同期比
ウェルス・マネジメント部門	1,045億円	-10%	-4%	370億円	-20%	-4%
インベストメント・マネジメント部門	430億円	-6%	-1%	155億円	-18%	-13%
ホールセール部門	2,592億円	-11%	+2%	375億円	-40%	+82%
合計	4,067億円	-10%	+0%	901億円	-29%	+17%

【ご参考】

[2025年3月期決算短信](#)

[2025年3月期第4四半期決算説明資料 米国会計基準\(US GAAP\)](#)

2025年4月25日付ニュースリリース「[剰余金の配当\(創立100周年記念配当を含む\)に関するお知らせ](#)」

2025年4月25日付ニュースリリース「[自己株式の取得に係る事項の決定に関するお知らせ](#)」

以上

詳細につきましては、[当社ホームページ](#)にて掲載の決算短信および決算説明資料をご覧ください。また、本日(2025年4月25日)午後6時30分より、決算説明会(テレフォン・カンファレンス)を開催する予定です。この模様は、[当社ホームページ](#)を通じてライブ配信します。

本資料は、米国会計基準による2025年3月期通期および第4四半期決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。本資料に含まれる連結財務情報は、監査対象外とされています。

本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。なお、本資料で使用するデータおよび表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。

本資料は将来の予測等に関する情報を含む場合がありますが、これらの情報はあくまで当社の予測であり、その時々状況により変更を余儀なくされることがあります。なお、変更があった場合でも当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。

本資料のいかなる部分も一切の権利は野村ホールディングス株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。